

武豊町地域公共交通会議 第26回 議事録

日時：平成29年6月23日（金）

10:30～12:00

場所：全員協議会室

○司会

- ・ 只今から第26回武豊町地域公共交通会議を開催します。
- ・ 資料確認
- ・ 会議次第に従い始めさせていただきます。

1. 会長あいさつ

○初山会長（武豊町長）

- ・ こんにちは。お世話になっています。
- ・ 日頃は、武豊町行政についてお世話になっており、ありがとうございます。
- ・ 利用者数について報告させていただきますと、1カ月あたり4,000人以上の利用があり、生活の足となっています。タクシーも月100人の利用があり定着しています。
- ・ NPO エンドゴールドによりテーマソングも完成した。保育園の出張訪問の際に披露し、PR、利用促進活動を行っています。
- ・ 本日は2点の協議事項、3点の報告事項を予定しています。
- ・ 皆様からの忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

○委員委嘱

（委嘱状交付）

○司会

- ・ 代理出席者3人。バス協会、富貴区長の欠席の連絡を聞いています。
- ・ 過半数を超える出席者数で、会議開催件を満たしています。

○伊豆原座長

- ・ 議事を進めさせていただきます。

2. 議事

●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。利用状況について報告いただきました。ご質問、ご意見ありますか。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・赤、青ルートの乗り継ぎを意識して設計されている。乗り継ぎの利便性について、PRしてもらうことが重要です。
- ・赤ルートに乗車しました。同時に車両が役所にあるので、2、3人の乗り継ぎされて利用がありました。
- ・事前予約タクシーについては、事前アナウンスをしてもらっている。伸びている場所がある一方で、利用のないところがある。その部分の扱いについて、協議すべきことだと思う。

○事務局

- ・乗り継ぎの件について、毎月の統計で1割ぐらいの利用があります。乗り継ぎが無料であることの認知ができていないかもしれない。イベント等でPRしていきたい。
- ・事前予約タクシーの利用の少ない停留所があることは理解しています。憩いのサロンで、タクシーの利用説明を進めたい。過去ルート変更を行った際に、事業の説明をしたことがあるが、変更から2年経過したので事業説明の対応について考えたい。

○伊豆原座長

- ・指摘頂いたように順調に利用されている一方で、事前予約乗合タクシーの利用は若干利用しづらい部分があるのかと感じた。
- ・実際に利用してみたほうがよいのかもしれない。お年寄りには失敗することが気になるのかもしれない。チャレンジしてみることが大切だと思う。イベントの際には、そうした体験乗車の取組について重視してみてください。
- ・その他ご意見ありますか。確認させていただいたということで次の議事に移ります。

●報告事項2 平成28年度武豊町地域公共交通事業の事業内容及び会計報告について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。会計報告です。いかがでしょうか。
- ・無いようなので、確認いただいたとして進めさせていただく。

●第1号議案 平成30年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。6月に要綱改正があり、計画書の作成、補助金申請の手続きがあ

りました。

○石屋委員代理（愛知県）

- ・赤ルートについては地域間幹線系統で、県のバス対策協議会でとりまとめ提出します。
- ・町から情報を提供頂いてまとめて提出します。地元にご利用頂くものなので、いっしょに考えていただけるとよい。

○伊豆原座長

- ・補助金の申請主体が異なる点の確認です。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・事務局から説明がありましたように、補助金交付要綱が4月に確定するものが6月9日に確定されたため、みなさんにご迷惑をおかけしました。添付資料、報告内容の一部変更があります。
- ・2の（3）事業と事業主体の追加をしています。
- ・3pの4について費用の総額を示すことになっていたが、金額の申請、内定する作業がなくなりました。4の記載は、費用の負担者のみです。そのため表2の負担額を算出基礎となる資料については提出が無くなりました。平成30年度（29年10月～）は、実績申請になります。
- ・要綱改正が遅れたため、今年度の報告は8月末までに延長しています。
- ・今回承認いただくこととなりますが、事務局提案にあったように、事務局と支局で調整して、提出いただければと思います。

○伊豆原座長

- ・遅れた理由とか今後の対応について、杉本委員からの報告がありました。この件についていかがでしょうか。
- ・一番変わったことは事前申請による内定通知から、実績主義に変更。今回から金額記載がなくなりました。
- ・事務局による提出後、支局と調整を行うこととなります。今日はその関係資料となり、修正対応は事務局に委ねる形となる点を理解頂きたい。
- ・申請書として受理いただける段階に事後になるかもしれませんが、計画を各委員に郵送対応をお願いします。こうした対応でよろしいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ご承認いただいたものとします。ありがとうございました。

●第2号議案 平成30年度に行う中間評価の評価項目について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・説明ありがとうございました。来年度に行う中間評価の項目について説明がありました。ご意見等ありますか。
- ・平成27年度に形成計画を策定いただきました。その計画に平成30年度に中間評価を行うこととしていました。それにもとづいて対応するものです。

○木村委員

- ・事業の満足度の評価をするために、企画政策課のアンケートを利用するとの説明でした。
- ・バスを利用していない人もいます。利用しない理由を聞ける調査項目の設定をお願いしたい。希望です。

○事務局

- ・アンケートの設問設定について、企画政策課の満足度の調査項目は決定しているもの。別に住民アンケートを実施すると別途予算化が必要であり、今回はそこまで想定していない。ご理解いただきたい。

○木村委員

- ・予算がないならしょうがないです。

○伊豆原座長

- ・企画政策課の住民アンケートは、定期的に行っているものか。

○事務局

- ・2年に一度、定期的に行っている調査です。

○伊豆原座長

- ・行政全般について確認するものですね。

○事務局

- ・そうです。

○伊豆原座長

- ・アンケートを実施することは、調査の意図を示すことが重要。交通アンケートは、その意図を示すことも重要で、PRを兼ねて実施することも大切です。今回の企画政策課は、意図が異なる調査ですね。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・利用促進からすると、何故利用されていないという理由の把握は必要であろう。予算がからんでくるが、何らかの形で確認する方法を検討すべきではないか。
- ・計画の最終年度には実施してほしい。次期計画に反映できるように予算のかからない方法について考えて欲しい。

○事務局

- ・アンケートについては、PRすることも大切です、利用者の意見を聞くことも大切です。今年度の企画政策課のアンケート調査についてどこまでできるか検討します。具体的な調査方法については、今後のこの会議で提案させていただく。

○伊豆原座長

- ・評価は、数値をとることになる。この数値をどのように活用していくのかも考えて欲しい。
- ・財政投入額などは、事業効率性を議論することになるが、収支率、負担額（利用する人、しない人を含めて）などあり、その数字の意味をここで議論しておくことが重要です。
- ・収支率の議論は、赤字事業をそのまま継続することが、空気を運んでいると避難されることにつながる。住民皆さんが利用していただければ、収支率が上がり、公的投資が減り、その他の事業に投資が回る。そうしたサイクルにあることを住民の皆さんに、ここで確認しておかないといけない。収支率が悪いということが問題ではなく、利用を増やすことの重要性を確認する評価の仕方を確認しておくことが重要ではないか。是非そうしたことを考えて欲しいです。
- ・良かった悪かったことではなく、次のチェック、アクションにつなげることが大切で、評価という言葉の印象が良くないかもしれない。スパイラルアップのための確認をお願いしたい。
- ・評価の手引きは、中部運輸局の創ろう公共交通のサイトに、各種マニュアルが掲載されています。その中にその手引きがありますので、参考に読んで頂ければと思います。
- ・評価の具体的な内容は、今後の会議で確認することとして、評価の実施について承認をお願いしたいがよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。

3. その他

●武豊町コミュニティバス利用促進友の会 平成28年度活動実績及び平成29年度事業計画

○櫻場委員

- ・昨年と今年の事業は、概ね同じ事業を進めていく。
- ・6月18日にベンチが古くなってきたので、10脚製作した。防災ボランティアなど30名の参加で10脚製作し、青ルートに配置し、古いものは地域交流センターに使ってもらうことになりました。
- ・憩いのサロンで、バスの宣伝をしています。サロンのあと、ぶらりミニツアーとして、10～15人の参加したツアーを実施しています。過去3回実施しました。15名を超える参加もあります。毎月実施しようと考えています。
- ・39番目の乗車者にサンキュープレゼントを実施しています。また、5月6日に「ゆめころんの日」を設定した。5月6日の乗車には、ペーパークラフトを全員に配布しています。ペーパークラフトは、普段は小学生のみの配布です。

- ・赤バスに写真展を実施しています。青バスでは、そば打ち体験会を実施します。赤バスでの観光ツアーを計画しています。
- ・家庭で話題にしてもらおう「話題性」をつくる方法を検討しています。1週間乗り放題チケットの発行、だれがのってもよいというチケットを500円ぐらいで販売したらどうかというチケット販売を考えています。

○伊豆原座長

- ・いろんなアイデアありがとうございます。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・多くのことを考え、実践していただいている。敬意を表したい。いろんな市町から好事例を聞かれるが、この場所の対応を広めたい。引き続き、ご苦勞をおかけしますが、よろしく願っていたい。

○伊豆原座長

- ・住民がベンチを**作って欲しいと役所に要望した**地域がある。武豊の取組を伝えた。楽しい試みをしていただいています。

●特定非営利法人エンドゴールによるゆめころんのうた作成及びCDの発売について

○事務局

- ・音源を紹介します。7月上旬にCDを販売します。観光大使がうたっています。イベント等で活用していきたいと思います。

○伊豆原座長

- ・子供たちがよろこぶ歌ですね。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・小さい子は覚えるかな。振付があつたら面白いかもしれません。運動会などでも披露してもらえればと思います。

○事務局

- ・次の報告に関連しますが、出張保育園で紹介しました。園長から気に入って頂いて、振付を考えようという話題が保育園側から出た。

●保育園へ出張訪問（はじめてのゆめころん）の実施について

○事務局

- ・CDやペーパークラフトなどの紹介を出張訪問を通して行っていく。

○伊豆原座長

- ・乗ったら楽しいんだよね、ということを是非紹介してほしいです。

- ・本日の予定していた議事は以上です。その他ご意見等ありますか。

○石屋委員代理（愛知県）

- ・エコモビの取組の紹介

○伊豆原座長

- ・自動車と公共交通をうまく使い分けていきましょうという取組です。CDもできたよということを含めて、是非話題としてください。
- ・以上で本日の議事は終了ですので、進行を事務局にお渡しします。

4. 閉 会

○司会

- ・伊豆原座長、議事ありがとうございました。

○町長

- ・長時間審議ありがとうございました。
- ・アンケートの意義、展開を考えて実施すべきという指摘について、認識しました。
- ・友の会の利用促進活動について、先進地視察の候補地として訪問されるように進めたい。歌をPRしていきたいと思います。
- ・熱心なご議論ありがとうございました。

○事務局

- ・ありがとうございました。以上をもちまして武豊町地域公共交通会議第26回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上